

木之本警察署協議会議事録

開催日時		令和4年9月14日（水）午後2時～午後4時20分
開催場所		木之本警察署 3階会議室
出席者	委員	吉田源市会長、織田しげみ副会長、雨森茂昭委員 瀧川眞吾委員、岡島義孝委員
	警察	署長、次長、会計課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長 交通課長、警務係長、警備係長
議事概要		
<p>1 総合対処法訓練の視察</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>会長から「木之本警察署管内では、8月5日に大雨に伴う災害が発生し、復旧作業も終了していない状況の中、台風シーズンを迎え、地域住民は、いつ発生するか分からない自然災害を心配しているところである。8月5日の大雨に伴う災害の際には、警察官が地域を巡回し避難誘導されている姿を見て、頭の下がる思いであった。委員の皆様には、警察業務に対する建設的な意見等を積極的に発言いただきたい。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>3 署長挨拶</p> <p>署長から「先程は、凶器を所持した犯人に対して、様々な資機材を活用し迅速かつ安全に制圧することを目的とした実戦形式の訓練を視察いただいた。全国的に、無差別殺傷事件や拳銃奪取を狙った交番襲撃事件が発生しており、市民に危害が及ばないことはもちろん、警察官自らの安全確保も重要となっている。視察いただいた訓練は、数ある訓練の1つに過ぎないが、治安の維持には、日々の訓練の積み重ねが欠かせないことをご理解いただきたい。</p> <p>警察署協議会も本年度2回目となり、今年度のテーマである『高齢者対策、子どもの安全確保対策』について、皆様には住民目線に立った、忌憚のない御意見・御要望をお願いします。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>4 協議</p> <p>(1) 前回協議会における意見等への対応結果について</p> <p>前回の協議会において委員から意見があった、子どもの下校時間帯における防災無線による放送について、警察から市に対する確認結果を基に報告があった。</p>		

(2) 協議会テーマ『高齢者対策、子どもの安全確保対策』の各課における取組状況について

警察から、犯罪被害抑止対策等、地域課業務取組状況、刑法犯の発生・検挙件数等、交通事故発生状況、交通事故防止に関する啓発活動、交通安全教室、8月5日の豪雨災害の概要について説明があった。

(3) 警察活動に対する意見・要望等

委員から「先般の豪雨災害による復旧工事が各所で行われているが、片側交互通行の信号を守らないバイクの運転手がいて危険である。」「道路形状により、センターラインがない部分があり、危険と感じる。また、踏切の停止線が薄くなっている箇所もある。」「自転車盗などの発生を有線放送等で地域住民に周知できるため、自治会長に情報提供いただけないか。」旨の意見がなされ、警察から「道路工事区間における信号機は、道路交通法上の信号機ではなく、取締りの対象とならないが、工事の際は、業者との協議を行い、工事・規制に関する条件を付して道路使用許可を出しているため、現場確認の上、必要な措置を講じるように指導する。」「センターラインについては、幅員等道路形状、道路環境により引けない部分がある。また、踏切の停止線については、早急に道路管理者に対して修繕要望を行う。」「工夫を凝らした啓発を行い、管内住民との情報共有を図っていきたい。」旨の説明がなされた。

そのほか、委員から「木之本警察署子ども安全リーダーは、全員で39名と聞いたが、学区ごとの人数を教示いただきたい。」「サイバー犯罪被害防止講習の講師の方には専門的な知識が必要であると感じたが、専門的な知識を有した職員は警察署におられるのか。また、講習対象の企業は指定されているのか。」「地域住民から、高齢者の運転が危険であり、運転免許の自主返納を自治会長から言ってほしいと相談を受けたが、説得する良い方法はないか。」旨の質問がなされ、警察から「子ども安全リーダーは、管内の小学校区ごとに概ね5名の方に委嘱しており、小学校区によっては5名より少ない小学校区がある。」「サイバーに関しては、初級から上級までの部内検定があり、警察官については、これを順次取得することで基本的な知識は有している。また、今回の講習会には、警察本部のサイバー犯罪を専門とするサイバー犯罪対策課と警備第一課から講師を招へいした。企業に対する講習は、要望に応じて積極的に対応させていただいている。」「独り暮らしで買物等

に車が必要な方もおられることから、自主返納した際の支援体制等についてしっかり説明し、自主返納を勧めることが必要となる。」旨の説明がなされた。

5 次回協議会日程

令和4年12月上旬に開催されることとなった。